

コロナだからしかたないとあきらめないで!!

困ったときは気軽に労働相談センターへ

0120-378-060 (月~金 10:00~18:00)

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第254号

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会(京都総評)
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
<発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

城陽市職労の
昼休み説明会



自治労連
2020000000

京都自治労連では、4月1日新規採用者を仲間へ迎えようと全ての単組で説明会、歓迎会が取りまわっています。新しく役所に配属となるみなさんは、コロナ禍のもと、不安を抱えながらも住民のために頑張りたいとの思いを持っています。その不安や期待に応えるのが労働組合です。一人でも多く仲間へ迎えようと、集まるのが難しい中でも工夫を凝らし、奮闘しています。

なかまが増えれば、みんなが元気

福祉保育労京都地本高齢福祉支部原谷こぶしの里分会は、「コロナ禍で大変な時こそ、エッセンシャルワーカーの地位向上を呼びかけよう！」と話しあって、春闘の山場である3月11日の全国いっせい行動に向け、Twitterなどで積極的な呼びかけを行いました。また、この間は「仲間を増やそう！」と新入社員向けのオリエンテーションや職場訪問など、組織拡大にも取り組んでいます。



福祉保育労
2020000000

新年度を迎え、多くの職場で新規採用の新しい仲間が加わっています。コロナ禍で、組合説明会や組合を知る会など集まる機会が少なくなっている中、工夫しながら仲間増やしの取り組みや未組織労働者への宣伝活動などが行われています。すべての労働者に労働組合の魅力と役割を知らせ、新しい仲間を迎え入れて、労働組合を強く大きくしていきましょう。

仲間増やしのハル

「労働組合リーフレット」も
活用し組織拡大めざす



化学一般京滋福地方本部の組合員数は、ピーク時の34組約3,200人から現在は24組約1,500人と人数

では半減しています。新しい組合の立ち上げと同時に半数以上あるオープンショップ組合の組織率アップも重要です。組合の立ち上げと新入社員の組合加入に向けて2019年に労働組合の基本的なことを紹介する「労働組合リーフレット」を作成しました。リーフレットも活用し組織拡大に努力しています。

つながり生かして



JMITU
2020000000

JR西大路駅や近鉄上烏羽口駅など、京都・滋賀の4か所の定点で、毎月実施している未組織宣伝では、横断幕やプラスターをかかげ、チラシ入りのティッシュを配り、労働組合への加入の動きかけを積極的に行っています。また、各支部、分会の新入社員と対話し、加入拡大につなげるよう取り組んでいます。

労働組合を知らせよう

第92回全京都統一メーデーの開催方法について

新型コロナに関して5月5日まで「まん延防止等重点措置」が京都市に適用され、感染が急増している状況を踏まえ、実行委員会は、今年のメーデーの開催方法を下記のようにすることにしました。

1. 第92回全京都統一メーデー大会

日時 5月1日(土)
午前10時~10時45分
会場 二条城前広場

※ただし、参加は常任委員と事務局のみとし、大会の様子をYoutubeでリアルタイム配信を行う。
視聴リンク先; <https://youtu.be/uZ8LTFWvI8U>

京都総評 Youtube 検索

2. デモは行わない

全医労では、毎年4月に各支部で組合説明会を開催しています。南京都支部では昼休みにオリエンテーションを行っている会場に行き、新人さんに組合説明会の案内状を配布しました。

説明会には、31名の新人が参加しました。書記長がパワーポイントの資料やパンフレット、新聞記事などをもとに組合の大切さを説明し、説明のあとは、支部役員たちが新人さんの元へ行き「加入どう?」「迷っているなら、入っておいの方がいいよ」などと声掛けをし、その場で9名が加入しました。その場で加入に至らなかった方にも再度、声掛けを行っていきます。

医労連
2020000000



京教組
2020000000

子どもたちや新たな同僚との出会いに、胸が高鳴る新年度が始まりました。「学ぶことが楽しい、と子どもたちが実感できる授業がしたい」「みんなが安心して生活できる教室づくり、学校づくりをしたい」そんな教職員の願いに応える新学習会や教育書フェアが、各地の教職員組合で企画・開催されています。

(写真は京都市教組主催春の教育講座)

新年度を迎え、大勢の新入生を迎える季節となりました。昨年は、新型コロナウイルスの影響で入学式は中止・縮小となり、大学構内への入構も制限されるなど、それまでの大学のあり方を一変させる事態となりました。▼今年も引き続き、対面授業における感染予防対策など、教職員・学生ともに気を遣う日々を過ごすことになる中で、大学での学びや課外活動に安心して参加できる環境を整える必要があります。▼しかしながら、二〇二一年度予算では私立大学に対する感染予防対策費は計上されず、無利子奨学金の事業費は昨年度を下回るなど、学生・保護者への支援は皆無と言わざるを得ない状況です。▼京滋私大教連が昨年実施した家計負担調査の結果を見ると、下宿生の一泊あたりの生活費は過去最低の六九三円に落ち込むとともに、新入生の保護者の約七割が教育資金の「積立準備」を行っていません。新型コロナウイルス禍の下で一層厳しい生活を余儀なくされる学生・保護者の実状を踏まえた手厚い支援を一人の親の立場からも切に願うもので

(HS)

TUBUYAKI

年金引き下げ違憲訴訟京都事案 大阪地裁が不当判決!



判決に向け、裁判所に入る原告団

年金者組合 京都府本部

2021年4月15日、大阪地方裁判所第7民事部は、京都府在住の原告115名が、厚生労働大臣による平成25年12月4日付で国民年金・厚生年金保険年金額改定決定の取り消しを求めた訴訟につき、原告の請求を棄却するといふ、不当判決を下しました。

なぜ裁判を提訴したのか

低年金者の生活実態を一切聞かずに、国で十分な審議を尽くさず、平成24年改正法に於いて、平成24年改正法による一方的な年金の減額、高齢者にとっての命綱である年金受給権を侵害し、憲法25条(生存権)や、29条(財産権の保障)、13条(幸福追求権)、さらに制度後退禁止を求めた社会権規約に違反するもので、到底認められるものではない、と全国的に議論した上で提訴することになり、5千人をこす原告が、39の地方裁判

争ってきたのか

原告・弁護士は、各裁判所で18人の原告が口頭陳述を行い、自らの苦しい暮らしの事情を訴え、同時に17本の準備書面と全国の学者6人が意見書を提出するなどして、本件年金減額処分が取り消されるべき理由を、憲法論、法律論、社会権規約に基づき主張してきました。

判決は不当! 私たちは控訴して、断固として争います!

判決は、年金受給者の生活実態、原告らの厳しい悲痛な訴えには、女性の低年金を認め、「原告らの主張を考慮したとしても」と記述しながらも、被告・国の主張を無批判に受け入れ、「立法の裁量」に付したものであり、人権保障を使命とする裁判所の役割を放棄したものと断じざるを得ないものであります。

年金者組合と、原告団及び弁護士は、15日の現地報告会(76人)、17日(年金制度をよくする京都の会主催・100人参加)の報告集会において、弁護団の判決要旨の報告を受け、本判決に異議を唱え、大阪高等裁判所へ控訴し、若者も高齢者も安心してくらせる年金制度を勝ち取るために、府内の友誼団体、全国の仲間と団結して、全力でたたかうことを決めました。

判決は、年金受給者の生活実態、原告らの厳しい悲痛な訴えには、女性の低年金を認め、「原告らの主張を考慮したとしても」と記述しながらも、被告・国の主張を無批判に受け入れ、「立法の裁量」に付したものであり、人権保障を使命とする裁判所の役割を放棄したものと断じざるを得ないものであります。

り、とても満足な医療や介護が受けられていない実情を証言しました。組合は「憲法を活かした判決を求める」署名1万筆超を裁判所に届け、さらに大半の原告からは裁判長宛に手書きのしがきを送り、正しい判決を求めました。

1000人を超える参加

3月21日、ガレリア亀岡で食料支援プロジェクト&相談会が開催されました。コロナ禍で困っている人に食料・日用品の提供をすると共に生活相談をするという企画です。

亀岡ではじめての食プロ&相談会



当日は77人の参加で家族を含めると100人以上が会場に集まりました。参加した人から「シングルマザーでパートシフトを減らされて生活に困っていた。本当に助かった。本当に助かっている」「派遣で働いているがコロナで給料が減った。1人暮らしで厳しい生活を送っている」と切実な声も寄せられました。

京都府最低賃金審議会委員

京都総評推薦候補の任命を求めて

賃金引き上げを求めて宣伝・署名運動をすすめています。今年、京都府の最低賃金改定を審議する京都府最低賃金審議会委員の改選期です。審議会は公益代表委員、使用者代表委員、労働者代表委員の三者構成で、各々5人の委員が任命されます。労働者代表委員は、1989年までは京都総評推薦の委員が任命されていましたが、1990年以降

は任命されていません。京都総評推薦者が任命されないことは公正任命という点で問題があります。また、京都総評は、中小零細企業に働く労働者や医療・福祉などの労働者、最低賃金に直接影響を受ける労働者を多く組織しており、こうした労働者の実態を審議に直接反映させることが必要です。



委員改選にあたって、2人(福祉保育労と全国一般)の委員候補を推薦し、160を超えて0を超えて労働・団体からの公正任命を求めるとして、4月21日に京都労働局に提出しました。

原発全廃への決意新たに

400人の参加で



高浜原発ゲート前抗議行動

当日は400人の参加で原発を全廃するための決意を再確認する集会となりました。

私たちの粘り強い運動で、福井県議会が老朽原発再稼働に同意できない、水戸地裁での東海第二原発の運転差し止め判決など状況が変化しています。また、脱原発を望む声は82%にも達するなど情勢の変化に確信を持つことが集会決議でも確認されました。

「原発いらない福島の人たち」の方は、放射線が怖くていまだに山菜が食べられない実態を涙ながらに訴えました。若狭湾沿岸や京都府北部からも連帯してたたく決意が語られ、原発立地の全国11地域から連帯メッセージが寄せられました。

集会終了後、地元住民からも歓迎される中、町内を「老朽原発廃炉を突くろう!」とデモを行いました。

「原産いらない福島の人たち」の方は、放射線が怖くていまだに山菜が食べられない実態を涙ながらに訴えました。

「原産いらない福島の人たち」の方は、放射線が怖くていまだに山菜が食べられない実態を涙ながらに訴えました。

「原産いらない福島の人たち」の方は、放射線が怖くていまだに山菜が食べられない実態を涙ながらに訴えました。

フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか

JMITU通信産業本部 京都支部 執行委員長 高橋 幸雄

コロナ禍で働き方もこれまでに無かった在宅勤務での「リモート」、仕切りのあるデスク作業、感染防止のマスクの着用など大きく働き方のスタイルが変化しました。常に幸福度世界上位にある国「フィンランド」を紹介した本を見つけてみました。人口は550万人



名:フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終わるのか 著者:堀内都喜子 出版社:ポプラ社 定価:860円+税